

4年の復習①	4	第4章 日本の工業	
4年の復習②	5	第11課 自動車をつくる工業	62
4年の復習③	6	第12課 工業のようす	66
4年の復習④	7	第13課 工業のさかんな地域	70
第1章 日本の国土		まとめの問題 第4章のまとめ	74
第1課 世界と日本の国土	8	ジャンプアップ4	76
第2課 暮らしと地形	12	地図にまとめよう	77
第3課 暮らしと気候	16	第5章 運輸と貿易	
まとめの問題 第1章のまとめ	20	第14課 運輸	78
ジャンプアップ1	22	第15課 貿易	82
地図にまとめよう	23	まとめの問題 第5章のまとめ	86
第2章 日本の農業		ジャンプアップ5	88
第4課 米づくりと生産のさかんな地域	24	地図にまとめよう	89
第5課 米づくりのくふうとこれから	28	第6章 暮らしを支える情報	
第6課 野菜・くだもの・畜産	32	第16課 情報を伝える	90
第7課 いも類・豆類・工芸作物	36	第17課 情報を役立てる	94
まとめの問題 第2章のまとめ①	40	まとめの問題 第6章のまとめ	98
まとめの問題 第2章のまとめ②	42	ジャンプアップ6	100
ジャンプアップ2	44	図表にまとめよう	101
地図にまとめよう	45	第7章 自然環境を守る	
第3章 日本の水産業と食料生産		第18課 暮らしと森林	102
第8課 とる漁業	46	第19課 公害と環境問題	106
第9課 つくり育てる漁業	50	第20課 災害と自然を守る運動	110
第10課 これからの食料生産	54	まとめの問題 第7章のまとめ	114
まとめの問題 第3章のまとめ	58	ジャンプアップ7	116
ジャンプアップ3	60	地図にまとめよう	117
地図にまとめよう	61	付録	
		世界のすがた	118
		日本の環境保全	120

8 とる漁業

テーマ

わたしたちはほかの国の人々に比べ、魚や貝などの水産物を多く食べています。日本はまわりを海に囲まれ、魚の種類も豊富ですが、水産業で働く人々は、どこで、どんな方法で魚をとっているのでしょうか。

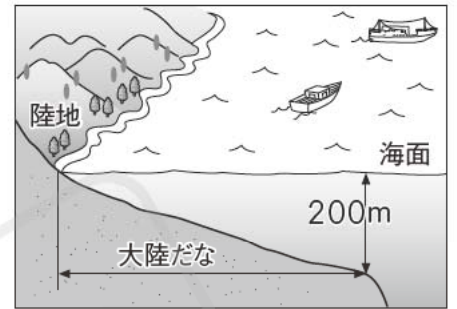
1 日本のおもな漁場

(1) おもな漁場

- ① 海流のえいきょう…日本近海には、暖流の日本海流〔黒潮〕・対馬海流、寒流の千島海流〔親潮〕・リマン海流が流れ、あたたかい海と冷たい海にすむ、さまざまな種類の魚が集まってきます。
- ② 潮目(三陸沖)…東北地方の太平洋側の沖合は、暖流と寒流がぶつかる潮目となっており、プランクトンが多く、魚の種類も豊富です。
- ③ 大陸だな(東シナ海)…九州地方の西に広がる東シナ海には、大陸だなが広がっています。大陸だなは、海岸から水深200mまでのけいしやがゆるやかな海底です。日光が海底までとどきやすく海そうが豊富で魚が集まるため、底引きあみ漁がさかんです。
- ④ 北洋漁場(オホーツク海)…北海道の釧路港が中心です。

→①

〔大陸だなのようす〕



(2) おもな漁港

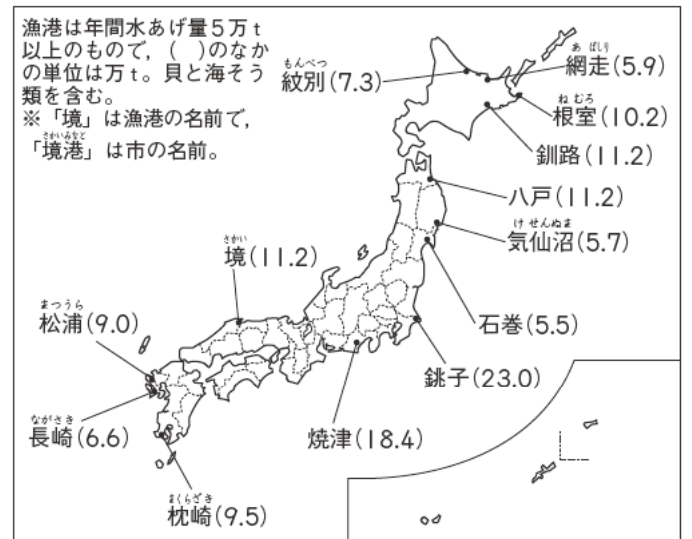
- ① 焼津港(静岡県)…大型の船でかつお・まぐろなどの魚をとる遠洋漁業の基地です。
- ② 銚子港(千葉県)…近海の魚をとる沖合漁業の基地で、さば・いわし・さんまなどの魚が多く水あげされています。
- ③ 石巻港(宮城県)・八戸港(青森県)…沖合にある潮目のえいきょうで、暖流・寒流それぞれにすむ魚が集まります。八戸港は、いかの水あげ量が多いことで知られています。
- ④ 釧路港(北海道)…すけとうだら・さけ・ます・かに・にしんなどが多く水あげされています。

→②

①日本近海のおもな漁場



②日本のおもな漁港



(2012年)

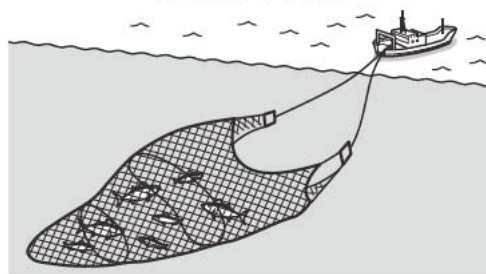
(2014/15年版「日本国勢図会」)

2 とる漁業

(1) おもな漁法

- ① 底引きあみ漁…大きなあみを船で引いて、魚をとります。
- ② まきあみ漁…魚の群れのまわりにあみを入れ、取りかこんだあとにあみをしぼり、魚をとります。
- ③ 一本づり漁…かつお漁などで行われており、一本のさおでつり上げる漁法です。
- ④ 定置あみ漁…海におもして固定したあみに魚をさそいこんでとります。

〔底引きあみ漁〕



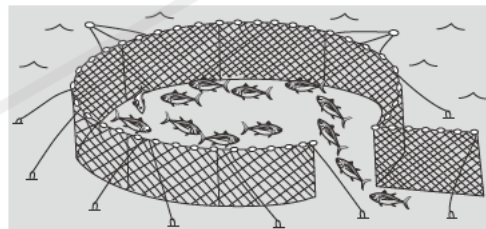
〔まきあみ漁〕



〔一本づり漁〕



〔定置あみ漁〕



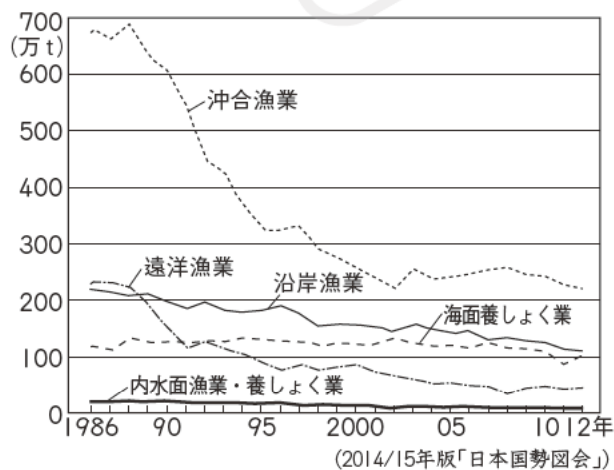
(2) 漁業の種類

→③

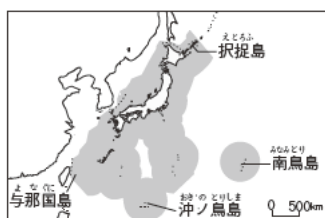
- ① 沿岸漁業…10t未満の船を使って日帰りで行う漁や、定置あみ漁業、地引きあみ漁業、養しよく業があり、あじ・たら・たい・さばなどをとります。海のごれが問題になっています。
- ② 沖合漁業…10t以上の船を使って、数日がかかりで行われ、いわし・さんま・さば・かれい・すけとうだらなどをとります。生産量は1980年代をピークに減少し、現在では最も多いときの半分以下となっています。
- ③ 遠洋漁業…遠くの海に出かけて、長い期間にわたって行われ、まぐろ・かつおなどの大型の魚をとります。1970年代後半、世界の多くの国が沿岸からの200海里水域(約370km)を設定したため、自由に漁業ができなくなりました。

→④

③ 漁業種類別の生産量の変化



④ 世界の200海里水域



〔日本の200海里水域〕
 ※日本の法令にもとづいて作成。
 境界線の一部は関係する国と協議中。

● 確認問題 ●

1 日本のおもな漁場や漁港についておぼえよう。

- ① 日本の太平洋側を流れている暖流を何といいますか。
- ② 日本の太平洋側を流れている寒流を何といいますか。
- ③ 東北地方の太平洋側の沖合の、暖流と寒流がぶつかる場所を何といいますか。
- ④ 九州地方の西の東シナ海に広がっている、海岸から水深200mまでのけいしゃがゆるやかな海底を何といいますか。
- ⑤ 北海道の釧路港を中心とする、オホーツク海周辺の漁場を何といいますか。
- ⑥ 大型の船で、かつお・まぐろなどの魚をとる遠洋漁業の基地である、静岡県の漁港を答えなさい。
- ⑦ いかの水あげ量が多いことで知られている、青森県にある漁港を答えなさい。
- ⑧ 近海の魚をとる沖合漁業の基地で、さば・いわし・さんまなどの魚が多く水あげされている、千葉県にある漁港を答えなさい。

- ① _____
- ② _____
- ③ _____
- ④ _____
- ⑤ _____
- ⑥ _____
- ⑦ _____
- ⑧ _____

2 おもな漁法についておぼえよう。

- ⑨ 大きなあみを船で引いて、魚をとる漁法を何といいますか。
- ⑩ 魚の群れのまわりにあみを入れ、取りかこんだあとにあみをしぼって魚をとる漁法を何といいますか。
- ⑪ かつお漁などで行われている、一本のさおでつり上げる漁法を何といいますか。
- ⑫ 海におもして固定したあみに、魚をさそいこんでとる漁法を何といいますか。

- ⑨ _____
- ⑩ _____
- ⑪ _____
- ⑫ _____

3 漁業の種類についておぼえよう。

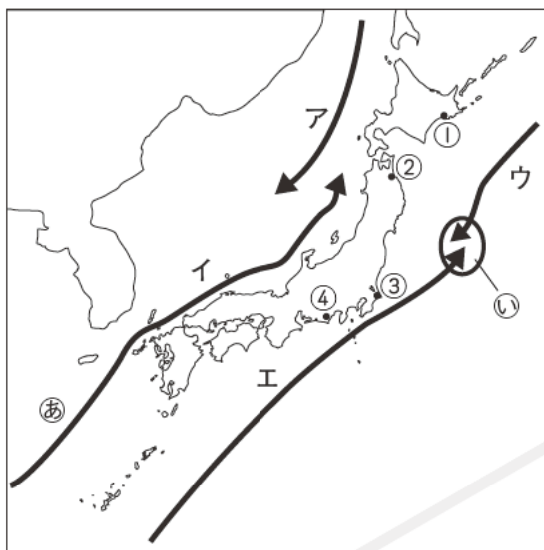
- ⑬ 10t未満の船を使って日帰りで行う漁業を何といいますか。
- ⑭ 10t以上の船を使って、数日ばかりで行う漁業を何といいますか。
- ⑮ 遠くの海に出かけて、長い期間にわたって行う漁業を何といいますか。
- ⑯ 1970年代以降、⑮の漁業生産量が減少している原因の1つである、世界の多くの国が設定している外国の漁業を制限する海域は、沿岸から何海里までのはんいですか。

- ⑬ _____
- ⑭ _____
- ⑮ _____
- ⑯ _____

練習問題

1 おもな漁場 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

□(1) 日本の近海を流れている海流のうち、豊かな水産物をもたらしている寒流の千島海流(親潮)にあたるものを、地図中のア～エから一つ選びなさい。



□(2) 地図中の㊸で示した海域は、海岸から水深200mまでのゆるやかにけいしやした海底が広がっています。この海を何といいますか。

□(3) 地図中の㊹で示した海域は、暖流と寒流がぶつかる場所で、よい漁場となっています。この暖流と寒流がぶつかる場所を何といいますか。

□(4) 地図中の①～④は、水あげ量の多い代表的な漁港を示しています。①～④の漁港にあてはまるものを、次のア～カから一つずつ選びなさい。

- | | | |
|-------|-------|-------|
| ア 境港 | イ 銚子港 | ウ 焼津港 |
| エ 釧路港 | オ 八戸港 | カ 石巻港 |

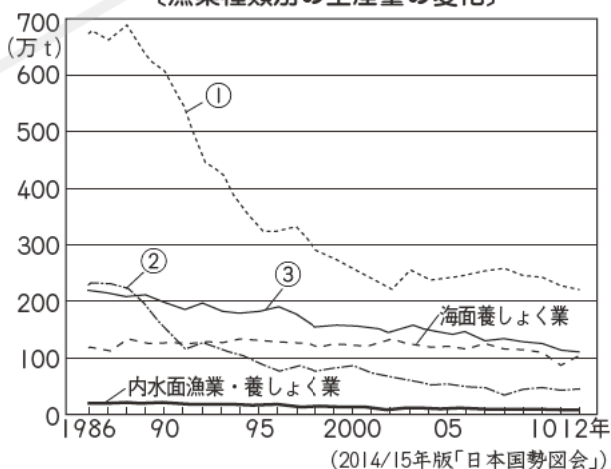
(1)	
(2)	
(3)	
(4)	①
	②
	③
	④

2 とる漁業 右のグラフを見て、次の問いに答えなさい。

□(1) グラフ中の①～③にあてはまる漁業の種類を、次のア～ウから一つずつ選びなさい。

- ア 遠洋漁業
イ 沖合漁業
ウ 沿岸漁業

〔漁業種類別の生産量の変化〕



□(2) グラフ中の②の漁業の生産量が大きく減った理由を述べた

次の文の□にあてはまる数字を書きなさい。

「世界の国々が、沿岸から□海里水域内の漁業を制限したから。」

(1)	①
	②
	③
(2)	